

2025 年 11 月 4 日

各位

株式会社プレナス

国産 SAF の原料となる廃食用油の供給エリアを拡大 11 月より神奈川県内の「ほっともっと」全店舗で開始 ～CO₂ 排出削減で、気候変動対策へ貢献～

株式会社プレナス（以下プレナス）は、持ち帰り弁当の「ほっともっと」と定食レストランの「やよい軒」、しゃぶしゃぶと本格飲茶の「MK レストラン」、そしてラーメン店の「KAYAVA.」を、2025 年 10 月末現在、国内に 2,809 店舗（月末に確認）展開しております。また、当社は、全国 222 店舗の「ほっともっと」「やよい軒」「MK レストラン」から出る廃食用油を国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel（以下、SAF））製造の原料として供給することで資源の有効活用を通じて気候変動対策への貢献を目指しております。

このたび、2025 年 11 月より、神奈川県内の「ほっともっと」全店舗へ廃食用油の供給を拡大することといたしましたので、お知らせいたします。

お客さまに安全で美味しい食を届け続けるためには、事業活動における未来を見据えた持続可能（サステナブル）な取り組みが不可欠です。これからも廃食用油を国産 SAF に再利用する取り組みに参加することで、トレーサビリティを明確にしながら CO₂ 排出削減を目指し、さらなる気候変動対策へ貢献してまいります。

■概要

・対象店舗

ブランド	店舗数		エリア
	2025 年 10 月末	2025 年 11 月以降	
ほっともっと	28	130	神奈川県的全店舗 熊本県、宮崎県、鹿児島県の一部店舗
やよい軒	172	172	関東地方の全店舗 九州地方、山口県の一部店舗
MK レストラン	22	22	全店舗
合計	222	324	—

・供給量

年間約 510 トン

・本取り組みによる CO₂ 削減量

年間約 1,275 トンの見込み

■国産 SAF サプライチェーンについて

当社と日揮ホールディングス株式会社（以下日揮 HD）、株式会社レボインターナショナル（以下レボインターナショナル）、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（以下 SAFFAIRE SKY ENERGY）の 4 社は国内 SAF の供給に貢献していきます。

なお、プレナスは、日揮 HD が主導する「[Fry to Fly Project](#)」にも参加しています。

プレナス (廃食用油提供)	店舗から出る廃食用油を SAF の原料として供給いたします。
レボインターナショナル (廃食用油収集)	回収した廃食用油を、SAFFAIRE SKY ENERGY が運営する SAF 製造装置向けに納入します。
SAFFAIRE SKY ENERGY (SAF 製造)	日本初となる国産 SAF の大規模生産プラントにおいて、レボインターナショナルから納入された廃食用油を原料として SAF の製造を行います。
日揮 HD (プロジェクト主導)	廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーンの全体構築を主導します。



<SAF とは>

SAF は、石油などの化石燃料以外を原料とする持続可能な航空燃料であり、その製造にあたっては様々な原料、製造技術が存在します。原料が 100%廃食用油の場合、従来の航空燃料と比べて原料収集から SAF の製造、燃焼までのライフサイクル全体で CO₂ 排出量を約 80%削減することが可能といわれています。

日本では、国土交通省が 2030 年時点で国内航空会社による燃料使用量の 10%を SAF に置き換える目標を掲げており、さらに 2050 年にはカーボンニュートラルにすることを目指しています。その実現に向け、国産 SAF の原料である廃食用油の安定的な調達が課題となっています。一方で、SAF の原料である廃食用油は、年間およそ 10 万トンが海外に輸出されているといわれており、輸送により CO₂ が排出されるだけでなく、国産 SAF 製造のための貴重な原料流出につながっています。

<Fly to Fly プロジェクトとは>

家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とする「SAF」で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。